



## 市議会11月定例会に提案

11月28日に開会した市議会11月定例会に提案した主な内容をお知らせします。

### 条例案件

**吹田市立学校条例の一部を改正する条例の制定**

過小規模校である山田第五小学校の学校規模適正化のため、同校を廃止し、山田第三小学校に統合するための改正。

### 予算案件

**自転車ヘルメット購入に補助**

道路交通法の改正により、自転車のヘルメット着用が努力義務化されたことに伴い、2月から購入費用の半額(上限2000円)を先着1000人分補助するための費用。  
200万円

## 市立吹田サッカースタジアム(Panasonic Stadium Suita)が公共建築賞・特別賞を受賞

公共建築協会が主催する公共建築賞で、全国122点の応募の中から受賞しました。

この賞は竣工後3年以上の施設が対象で、公共建築の総合的な水準向上を目的に2年に1回開催されています。設計施工だけではなく、地域社会への貢献や施設管理、保全といった視点も評価基準となっています。

同スタジアムは、梁の長さを極力抑えた合理的な設計など、コストを抑えるためのさ



まざまな工夫のほか、分かりやすい動線、風景を感じられる大きな外部階段など、このスタジアムならではの体験ができる点が評価されました。

### 市長コラム No.100

## こもれび通り

## そして100号



後藤圭二



コラムの音声版はこちら

「こもれび通り」が100号を迎えました。ご愛読いただき、ありがとうございます。

「よくそれだけネタがありますね」と言われることがあります。日々の出来事から感じたことを、なぜそう感じたのか考察してみても文章にするという作業なので、ネタが尽きることはありません。さて、100号にあたり、いつもよりスペースを拡大してお送りしましょう。

数学者の岡潔さんは、著書「人間の建設」で「義務教育は何をおいても、同級生を友だちと思えるように教えてほしい。同級生を敵だと思えることが醜い生存競争であり、どんなに悪いことであるかということ、いったん、そういう癖をつけたら直せないということを見落としている」と言っています。

勉強することの意義は、成績の優劣をライバルと競うことではなく、学びを通じて以前の自分よりも成長することです。一方で、受験勉強では子供たちは厳しい「生存競争」にさらされます。その経験は無駄ではありませんが、人格に

「醜い癖」がつくまで子供たちを追い込むことは、教育とはいえません。

昨年盛り上がったラグビーワールドカップでの試合終了後、敵・味方関係なくたたえ合うノーサイドのシーンにこそ、岡さんの言葉の行間を読み取れます。

そして、岡さんは、今の人類文化は生存競争であるとし、「人類時代とはいえない、獣類時代である」と喝破しました。仲間を蹴落として上に登ることの何が悪い、と平然と云ってのけ、さらなる「強さ」を求め誇る獣類は、確かに身近にいます。

強さを追求し、武道を極めた人物がこう言いました。「Real living is living for others.(本物の生き方とは、人のために生きることだ)」。これは、あのブルース・リーの言葉です。

私たちがそれぞれに持つ「強さ」を、何にどう使うべきか。新年を迎え、改めて考えてみる時間を持ちたいと思います。